

ドイツ言語文化研究Ⅰ(その2)

2 units 2nd-year(2nd semester)

Eisaku Ishikawa · PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

Target) ドイツの作曲家で、同時に作家であるリヒャルト・ワーグナー(1813-83)は後世の諸芸術に多大の影響を及ぼした。本授業科目はこのワーグナーの楽劇『ニーベルングの指環』四部作のうち、『ヴァルキューレ』をドイツ語の原典で講読するとともに、ビデオを使ってオペラをも鑑賞することによって、教養を高め、豊かな人間性を培うことを目的とする。

Outline) ドイツ・オペラの講読と鑑賞

Keyword) ドイツ文学, ワーグナー, 楽劇, ニーベルンゲン伝説, 北欧神話

Fundamental Lecture) “ドイツの文学”(1.0)

Notice) ドイツ語のテキストを講読しながら授業を進めるので、共通教育のドイツ語入門・初級を履修していることを原則とする。

Goal) ドイツ語辞典を用いてワーグナーの台本を読むことができ、オペラそのものを楽しむことができることを到達目標とする。

Schedule)

1. 楽劇『ニーベルングの指環』四部作——『ラインの黄金』、『ヴァルキューレ』、『ジークフリート』及び『神々の黄昏』——は、ワーグナーのライフワークとも言うべき作品である。2011年度後期はその二作目の作品『ヴァルキューレ』の台本を毎回少しずつじっくりと読み、同時にビデオでオペラそのものを鑑賞する。後期の授業計画は次の通りである。
2. 1) 『ヴァルキューレ』第一幕講読(5回)
3. 2) 『ヴァルキューレ』第二幕鑑賞(1回)
4. 3) 『ヴァルキューレ』第三幕講読(5回)
5. 4) 『ヴァルキューレ』全三幕を通して鑑賞(3回)
6. 5) 『ヴァルキューレ』の特質(総まとめ)

Evaluation Criteria) 授業への取り組み(50%)と期末試験(またはレポート)(50%)による。

Re-evaluation) 行わない

Textbook) 対訳プリント(石川訳)を配付する。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218897>

Contact)

⇒ Ishikawa (+81-88-656-7142, ishikawa@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 毎週 金曜日15時~16時)

Note) この授業科目は8単位まで履修することができます。(その1)と(その2)

は今年度それぞれ前期と後期に開講、(その3)と(その4)は来年度にそれぞれ前期と後期に開講予定です。